（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

1　基本情報

施設名称	大阪市立中央スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日（10年間）
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

2　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		83.5%
達成率		104.4%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.6%	0.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.4%	94.6%	1.8%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	29,842,300	29,609,840	0	計画通り
	計画	29,842,300	29,609,840		
利用料金（使用料）収入	実績	4,846,090	4,780,770	72,890	計画通り
	計画	4,773,200	4,743,360		
自主事業収入	実績	13,474,535	9,882,326	2,287,575	期制教室から月謝制教室への運営形態の変更により、年間開催回数が増加し、それに伴って収入実績も向上した。
	計画	11,186,960	11,186,960		
その他収入	実績	692,114	621,714	692,114	保守点検等の費用清算
	計画	0	0		
合計	実績	48,855,039	44,894,650	3,052,579	
	計画	45,802,460	45,540,160		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,192,643	16,290,679	1,062,163	安定した運営管理を図るため、正職員及び嘱託職員2名を新たに配置したことにより、人件費が増加した。
	計画	15,130,480	14,878,180		
物件費	実績	11,916,903	11,481,090	-1,582,437	公募時の公開データから光熱水費等を算出したが、運用工夫などにより削減ができた
	計画	13,499,340	13,399,340		
修繕費	実績	2,986,500	511,986	886,500	主な修繕・小便器自動センサー・天井漏水対応・4F5Fシャワー付き温水便座更新・4Fトイレ LED更新・給湯膨張タンク修繕・排煙窓修繕
	計画	2,100,000	1,200,000		
自主事業支出	実績	10,931,694	10,452,999	1,359,054	自主事業収入の増に伴う経費増 主に外部講師への委託費増
	計画	9,572,640	10,592,640		
その他支出	実績	5,848,047	5,314,984	348,047	収入増に伴う消費税、本社管理費の増
	計画	5,500,000	5,470,000		
合計	実績	47,875,787	44,051,738	2,073,327	
	計画	45,802,460	45,540,160		

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	104.4%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・設備や用具については、定期点検時に破損及び消耗状況を確認し、適切な補修を実施することで更新費用の抑制を図った。 ・物品の購入、更新及び修理にあたっては、複数社から見積もりを取得し、比較検討のうえ業者選定を行い、経費縮減に努めた。 ・消耗品については在庫管理を徹底し、過剰購入の防止及び適正使用を図った。 ・光熱水費については月次で使用量を把握し、異常値の早期発見と是正に努めた。 ・職員に対し省エネルギー及びコスト意識の啓発を行い、日常業務における無駄の削減を図った。 ・トイレの流水時間を調整し、水道使用量の削減を図った。 ・館内巡回時における消灯確認を徹底し、不要な電力使用の抑制に努めた。	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

５　利用者ニーズ・満足度等

・年1回、施設利用に関するアンケート調査を実施し、利用者の意見・ニーズ・満足度の把握および分析を行った。
・アンケート結果を踏まえ、早期対応が可能な事項については迅速に改善を実施した。
・自主事業についてはPDCAサイクルに基づき評価・改善を行い、利用者ニーズに即した事業展開を継続した。
・総合的な指標として「利用満足度80%以上」を目標に設定し、サービス向上に取り組んだ。
・利用者アンケートを実施し、利用者満足度は83.5%となり、安定した評価を維持した。
・「スタッフに気軽に問い合わせができるか」の設問において、「非常にそう思う」75.9%、「そう思う」24.1%と高い評価を得た。
・第１体育場・第２体育場の場所が分かりにくいとの意見を受け、写真付き館内案内物を受付前に設置し、館内案内を分かりやすくした。

６　外部専門家意見

稼働率が非常に高く、利用者満足度も目標を達成しており評価できる。利用者満足度については、さらなる向上に向けて、満足度の差がどのような点から生じているのかを把握し、運営上の工夫等によって対応可能な点について改善につなげていただきたい。来年度以降も、利用者のニーズ、特に苦情事項について早急に対応する体制の継続をさらに強化していただきたい。

また、SNSを活用した積極的な情報発信など、施設や事業を地域住民に広く知ってもらうための広報に取り組んでいる点についても評価できる。

収支についても、収入・支出ともに計画を上回る実績を上げつつ黒字としている点は評価できる。

自主事業について、運営形態の見直しやビジター券の活用などにより多様な利用ニーズに対応することで昨年度から大きく増収しており、目標を上回る実績となっている。今後も、民間事業者のノウハウを活かして自主事業をさらに活発化させ、既存利用者だけでなく、これまで施設との関わりが少なかった地域住民にも利用の機会を広げるような取り組みに期待したい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立西スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日（10年間）
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		84.4%
達成率		105.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.5%	0.3%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.5%	98.4%	0.1%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	91.2%	91.9%	-0.7%

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	27,447,560	28,012,606	162,800	計画通り
	計画	27,284,760	26,657,960		
利用料金（使用料）収入	実績	7,024,740	6,399,480	-1,980	計画通り
	計画	7,026,720	6,991,220		
自主事業収入	実績	15,928,526	12,345,734	1,457,766	期制教室から月謝制教室への運営形態の変更により、年間開催回数が増加し、それに伴って収入実績も向上した。
	計画	14,470,760	14,470,760		
その他収入	実績	232,543	48,843	232,543	保守点検等の費用清算
	計画	0	0		
合計	実績	50,633,369	46,806,663	1,851,129	
	計画	48,782,240	48,119,940		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,442,661	15,724,430	-1,687,819	契約職員を配置したことで人件費構成を見直し、正社員にかかる経費の削減した。
	計画	15,130,480	14,878,180		
物件費	実績	15,398,646	16,989,155	-1,286,394	公募時の公開データから光熱水費等を算出したが、運用工夫などにより削減ができた
	計画	16,685,040	16,685,040		
修繕費	実績	2,659,505	350,900	559,505	主な修繕・照明器具のLED等更新・７F冷水器更新・6F事務所LED更新・6F多目的空調室外機基盤修繕・7F更衣室壁面内漏水対策対処工事
	計画	2,100,000	1,200,000		
自主事業支出	実績	9,627,498	8,994,970	620,778	自主事業収入の増に伴う経費増 主に外部講師への委託費増
	計画	9,006,720	9,576,720		
その他支出	実績	6,425,836	5,711,744	565,836	収入増に伴う消費税、本社管理費の増
	計画	5,860,000	5,780,000		
合計	実績	47,554,146	47,771,199	-1,228,094	
	計画	48,782,240	48,119,940		

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.5%	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・設備や用具については、定期点検時に破損及び消耗状況を確認し、適切な補修を実施することで更新費用の抑制を図った。 ・物品の購入、更新及び修理にあたっては、複数社から見積もりを取得し、比較検討のうえ業者選定を行い、経費縮減に努めた。 ・消耗品については在庫管理を徹底し、過剰購入の防止及び適正使用を図った。 ・光熱水費については月次で使用量を把握し、異常値の早期発見と是正に努めた。 ・職員に対し省エネルギー及びコスト意識の啓発を行い、日常業務における無駄の削減を図った。 ・設備の運転時間及び使用状況の見直しを行い、エネルギー使用量の抑制に努めた。 ・不要箇所の消灯等、照明管理の徹底により電気使用量の削減を図った。 ・利用状況に応じたエリア管理を行い、効率的な施設運営に努めた。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

５　利用者ニーズ・満足度等

・年1回、施設利用に関するアンケート調査を実施し、利用者の意見・ニーズ・満足度の把握および分析を行った。
・アンケート結果を踏まえ、早期対応が可能な事項については迅速に改善を実施した。
・自主事業についてはPDCAサイクルに基づき評価・改善を行い、利用者ニーズに即した事業展開を継続した。
・総合的な指標として「利用満足度80%以上」を目標に設定し、サービス向上に取り組んだ。
・利用者アンケートを実施し、利用者満足度は84.4%となり、安定した評価を維持した。
・「7階の冷水器を修理してほしい」との意見を受け、8月に設備更新を行い、利用環境の改善を図った。

６　外部専門家意見

稼働率が非常に高く、利用者満足度も目標を達成しており評価できる。来年度以降も利用者満足度を落とさないため、利用者のニーズ、特に苦情事項について早急に対応する体制の継続をさらに強化していただきたい。

もともと非常に高い稼働率であったところ、空き情報をHPに掲載したり「空き利用可能一覧」として看板を設置するなど利用機会の最大化を図る取組みは、非常に意欲的であると感じる。また、卓球交流会のように、既存利用者同士の交流を促し、継続的な利用意欲の維持・向上につながる事業を実施している点についても、工夫を活かした取り組みとして評価できる。今後も民間事業者の創意工夫を凝らした様々な取組みに期待したい。

収支についても、計画を上回る収入を計上しつつも、人件費や物価が高騰する中、人件費構成を見直すなどして支出を計画よりも抑え収支を黒字とできており、評価できる。次年度も更なる管理費の縮減に取り組んでいただき、健全な施設運営を継続していただきたい。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立西成スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日（10年間）
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		83.0%
達成率		103.8%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.3%	98.2%	1.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.3%	98.1%	1.2%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	76.7%	72.8%	3.9%

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	62,780,170	62,952,570	0	計画通り
	計画	62,780,170	62,933,490		
利用料金（使用料）収入	実績	9,296,230	9,128,160	230,710	計画通り
	計画	9,065,520	8,993,780		
自主事業収入	実績	15,017,622	12,802,733	-29,228	計画通り
	計画	15,046,850	15,046,850		
その他収入	実績	14,871,261	4,949,018	14,871,261	工営所電気水道使用料等按分
	計画	0	0		
合計	実績	101,965,283	89,832,481	15,072,743	
	計画	86,892,540	86,974,120		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	14,549,958	12,872,130	2,462,418	共通職員の勤務実績に基づきスポーツセンターとプールへ按分した結果、当初計画に対して差異が生じた。
	計画	12,087,540	11,839,120		
物件費	実績	56,556,009	51,011,516	5,223,729	電気使用料の増加が主要因であるが、工営所に按分する費用も計上しているため。
	計画	51,332,280	51,332,280		
修繕費	実績	4,622,450	1,108,020	2,222,450	工営所の修繕費按分も費用計上しているため
	計画	2,400,000	2,000,000		
自主事業支出	実績	10,572,310	9,684,670	-70,410	計画通り
	計画	10,642,720	11,362,720		
その他支出	実績	10,843,289	10,466,642	413,289	計画通り
	計画	10,430,000	10,440,000		
合計	実績	97,144,016	85,142,978	10,251,476	
	計画	86,892,540	86,974,120		

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	103.8%	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・設備や用具については、定期点検時に破損及び消耗状況を確認し、適切な補修を実施することで更新費用の抑制を図った。 ・物品の購入、更新及び修理にあたっては、複数社から見積もりを取得し、比較検討のうえ業者選定を行い、経費縮減に努めた。 ・消耗品については在庫管理を徹底し、過剰購入の防止及び適正使用を図った。 ・光熱水費については月次で使用量を把握し、異常値の早期発見と是正に努めた。 ・職員に対し省エネルギー及びコスト意識の啓発を行い、日常業務における無駄の削減を図った。 ・空調設備の運転エリア、運転時間及び設定温度を適切に管理し、エネルギー使用量の抑制に努めた。 ・夏季においては空調機器の調整により室温の適正管理を行い、効率的な運転に努めた。 ・開館前後の設備稼働時間の見直しを行い、電気使用量の削減を図った。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

５　利用者ニーズ・満足度等

・年1回、施設利用に関するアンケート調査を実施し、利用者の意見・ニーズ・満足度の把握および分析を行った。
・アンケート結果を踏まえ、早期対応が可能な事項については迅速に改善を実施した。
・自主事業についてはPDCAサイクルに基づき評価・改善を行い、利用者ニーズに即した事業展開を継続した。
・総合的な指標として「利用満足度80%以上」を目標に設定し、サービス向上に取り組んだ。
・利用者アンケートを実施し、前年度満足度75.5%から83.0%へと7.5ポイント向上し、目標値を達成した。
・意見箱に加え、利用者との積極的なコミュニケーションを通じてニーズ把握を強化し、運営改善および修繕対応の迅速化につなげた。
・「開放DAYの受付方法」において、整理券配布時に代表者２名での整列から１名に変更してほしいとの意見を受け、運用方法を見直し、待機時の混雑緩和および公平性の向上を図った。

６　外部専門家意見

稼働率は高水準を維持しながら前年度比でも向上し、昨年度は目標未達であった利用者満足度も、ニーズ把握を強化し、運営改善および修繕対応の迅速化につなげることで、7%改善して目標を達成した点は評価できる。また、3Dビューの導入により施設利用のイメージを持ちやすくするなど、民間事業者のノウハウを活かした利用促進の工夫も評価できる。こうした細やかな対応や利用者ニーズを捉えた改善の積み重ねが、満足度の向上にも良い影響を与えたものと考えられる。来年度以降も利用者満足度をさらにあげるため、利用者のニーズ、特に苦情事項について早急に対応する体制の継続をさらに強化していただきたい。

収支状況については、収入が計画を上回っているものの外的要因が大きいことがうかがえる。利用料金や自主事業収入は前年度比で伸びてきているので更なる増収につながるよう引き続き努められたい。支出についても、増加している要因は収入と同様に外的な要素が大きいと思われるが、民間事業者ならではのアイデアや工夫により更なる管理費の縮減に取り組んでいただき、サービス品質を維持しつつ、引き続き施設の安定した運営に向けて取り組んでいただきたい。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

1　基本情報

施設名称	大阪市立西成屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日（10年間）
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

2　管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		84.1%
達成率		105.1%

2　管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		91.5%
達成率		114.4%

2　管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	85,834	82,045	3,789
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	20,708	19,121	1,587
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	55,630,320	56,286,280	0	計画通り
	計画	55,630,320	56,286,280		
利用料金（使用料）収入	実績	25,989,760	25,246,144	-674,490	計画通り
	計画	26,664,250	26,122,750		
自主事業収入	実績	27,196,560	21,905,723	4,939,930	企業努力による在籍者数増と、受講料価格改正による影響
	計画	22,256,630	22,256,630		
その他収入	実績	736,774	630,052	736,774	費用按分等受け取り
	計画	0	0		
合計	実績	109,553,414	104,068,199	5,002,214	
	計画	104,551,200	104,665,660		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	32,735,687	35,736,978	-9,568,393	当初計画では、正職員のレッスン手当及びパート職員のレッスン時給を全て人件費に計上していたが、自主事業にかかる人件費を事業経費に振り替えて計上したことにより、人件費が当初計画と比べて減少となった。
	計画	42,304,080	41,078,540		
物件費	実績	40,310,075	45,831,681	-647,745	計画通り
	計画	40,957,820	42,457,820		
修繕費	実績	6,508,780	2,313,828	2,908,780	ろ過集毛器修繕や・消防設備・ろ過器修繕など比較的高額な修繕が重なった
	計画	3,600,000	3,000,000		
自主事業支出	実績	11,903,007	12,115,590	6,763,707	集客強化を目的とした物販セールの実施により、当初計画を超える仕入れが必要となり、物販仕入れ費が増加した。 教室在籍数の増加に伴い、臨時雇用者で対応したことによる自主事業人件費の増。
	計画	5,139,300	5,569,300		
その他支出	実績	13,983,103	12,970,889	1,433,103	収入増に伴う消費税、本社管理費の増
	計画	12,550,000	12,560,000		
合計	実績	105,440,652	108,968,966	889,452	
	計画	104,551,200	104,665,660		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	105.1%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	114.4%	A	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・設備や用具については、定期点検時に破損及び消耗状況を確認し、適切な補修を実施することで更新費用の抑制を図った。 ・物品の購入、更新及び修理にあたっては、複数社から見積もりを取得し、比較検討のうえ業者選定を行い、経費縮減に努めた。 ・消耗品については在庫管理を徹底し、過剰購入の防止及び適正使用を図った。 ・光熱水費については月次で使用量を把握し、異常値の早期発見と是正に努めた。 ・職員に対し省エネルギー及びコスト意識の啓発を行い、日常業務における無駄の削減を図った。 ・節水シャワーアダプターの設置により、水道使用量の削減を図った。 ・循環装置の活用により、プール残留塩素サンプリング水を再利用し、水道使用量の削減した。 ・不要箇所の消灯及び照明の間引きにより、電気使用量の削減を図った。 ・物品の購入、更新及び修理にあたっては、複数社見積もりによる比較検討を実施し、経費縮減に努めた。 ・ろ過設備及び配管の定期点検を強化し、効率低下を未然に防止し、エネルギー負荷軽減に努めた。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・年1回、施設利用に関するアンケート調査を実施し、利用者の意見・ニーズ・満足度の把握および分析を行った。
・アンケート結果を踏まえ、早期対応が可能な事項については迅速に改善を実施した。
・自主事業についてはPDCAサイクルに基づき評価・改善を行い、利用者ニーズに即した事業展開を継続した。
・総合的な指標として「利用満足度80%以上」を目標に設定し、サービス向上に取り組んだ。
・利用者アンケートを実施し、屋内プール84%、トレーニング場91.5%と高い満足度を維持した。
・ランニングマシン利用時の「開始時間・終了時間の記載」に関する意見を受け、試験的に記載なしで運用を実施し、問題がないことを確認した上で正式に運用変更を行い、利用者の利便性向上を図った。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

６　外部専門家意見

屋内プール・トレーニング室ともに前々年度、前年度と比べ利用人数が右肩上がりに増加しており、また、利用者満足度も昨年度に引き続き目標を達成できている点は評価できる。来年度以降も利用者満足度をさらにあげるため、利用者のニーズ、特に苦情事項について早急に対応する体制の継続をさらに強化していただきたい。

収支についても、前年度と比較して収入を増加させる一方で支出を削減し、前年度の赤字を黒字に好転させ、収支改善を実現した点は評価できる。

自主事業について、教室の在籍者数を維持・向上させる努力や、物販セール、体成分測定等のイベントを動線上で実施することで高い訴求効果と利用促進につなげるなど、民間企業ならではの創意工夫により昨年度から大きく増収しており、目標を上回る実績となっている。また、施設近隣の環境や利用者の行動特性を踏まえながら、利便性の向上と購買機会の創出を両立させている点についても、利用者ニーズを効果的に捉えた工夫として評価できる。

次年度も民間事業者のノウハウを活かした新たな取組みにより更なる増益を目指していただきたい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	